

元気いっぱい 笑顔いっぱい

あいしょうキッズ



愛知川幼稚園 こすもすぐみ（5歳児クラス）

外遊びが大好き！歌が大好き！な、こすもす組25名の仲間たち。明るく元気な声が保育室に響いています。運動会もみんなで力を合わせて頑張りました。幼稚園の最後の1年、みんなで楽しい思い出をたくさん作ろうね☆

こすもす組担任 白澤 大樹 野瀬 弘美 岡本 美咲



ゆたか保育園 にじぐみ（4歳児クラス）

パワーと笑顔があふれるにじ組20名の子どもたち。楽しいことが大好きで「やってみよう！」という思いを持ち、いろいろなことに挑戦しています。これからもみんなでたくさん遊んで、楽しい思い出いっぱい作ろうね！

にじ組担任 前川 千尋 飯島 ゆかり 松久 悠起子

人推協だより
ほっと・あい 第198号

愛荘町人権教育推進協議会
問 (事務局) 教育委員会生涯学習課内 (秦荘庁舎)
☎0749-37-8055 FAX0749-37-4192

第54回愛知・犬上郡
人権教育研究大会

ハラスメント防止
～ 行為者にも被害者にもならないために～

9月4日(日)、コロナ禍で中止になっていた「愛知・犬上郡人権教育研究大会」が3年ぶりにハーティーセンター秦荘大ホールで開催されました。コロナ禍や社会情勢の急変により生活や仕事のあり方も大きく変化している現代では、人々の心の状態にも変化が見られます。

また、本年4月から中小企業事業主にも、ハラスメント防止のための措置を講じることを義務づける法律が施行されました。こうした状況を踏まえ、公益財団法人21世紀職業財団客員講師 猪熊 康二さんをお迎えし、ハラスメントの定義や現状、自己チェックの仕方、法規制、ハラスメントが起こる背景とその対応などをご指導いただきました。



ハラスメントへの周囲の無関心な「傍観者」をなくす

- ① 止めない(止められない)見て見ぬふり
- ② 「あの人も悪い」という心理
- ③ 企業・組織の姿勢・対応を伺っている



ハラスメントは、企業・地域コミュニティ全体の問題
「見て見ぬふりはNG」を減らし「傍観者にならないこと」

いじめ、嫌がらせ、偏見、差別、ハラスメント問題など、言葉は違いますが、一口に言えば、どれも「差別」です。人は無意識の思い込みや偏見(アンコンシャスバイアス)、日常的な差別性(マイクロアグレッション)を持ち、誰もが差別をしてしまう可能性を秘めて生活しています。そこで、地域・職場などの様々な組織では、対応ルールやシステムを整え、個人では、相手を尊敬して向き合う姿勢や信頼性の高いコミュニケーションができていかなど、常に自分と向き合う姿勢が必要となります。また、「自分だけ良ければ」という言葉を耳にすることがありますが、差別を放置しないという強い意思も必要です。

企業にとっても、地域にとっても人は財産です。人が豊かに繋がる職場や地域は志気も高く、企業や地域風土もより良いものになります。

人権教育とは、個別の人々の課題を学ぶのではなく、自己の日々の生き方を問い、人間の人格形成を確立していくために必要な学びです。

「行為者」「傍観者」にならないために

- ① 自分の価値観を一方向的に押しつけない
- ② 自分がハラスメントをしている可能性がある時、それを教えてくれる人や仕組みをもつ
- ③ ハラスメント問題について放置しない